

抗ガン剤の進歩

従来、ガンなどの悪性腫瘍の治療は外科的な切除が第一と考えられていました。しかし、白血病や悪性リンパ腫などの全身に発生する悪性腫瘍に対して手術はできず、薬物療法が積極的に研究され、有効な治療薬が開発されている。この治療法は有効な数種類の抗ガン剤を同時に投与して、その副作用を抑えながらガン細胞を制圧することです。急性白血病の一部では薬物によりかなりの患者さんが完全寛解（ほぼ治癒）になり通常の生活が可能となっております。有名な映画俳優や歌舞伎役者などが悪性の血液疾患から回復して以前のように舞台上に復帰したとの報道がなされています。血液疾患に関しては骨髄移植などの進歩も貢献しています。

一方、通常のガンは固形ガンといわれて身体の局所に発生し、徐々に増大して周囲や

離れた臓器に転移を起こすのが特徴です。対策としては早期の発見による治療がもっとも重要です。早期に発見された場合には部位により異なりますが、内視鏡治療や放射線療法のみにて治癒が可能なこともあります。

しかし日本人にみられる胃ガン・肺ガン・乳ガン・大腸ガンなどの多くのガンは、固形ガンと呼ばれる、外科的な切除が最も有効とされています。これは患者さんにとっては大きな侵襲となることは当然ですが、発見が遅れた場合には進行して手術が困難な場合もまれならず存在します。また、心臓や肺・肝・腎臓などに重篤な疾患を抱えた場合には手術そのものに耐えられないことがあります。

そのような進行ガンや多臓器疾患を抱えた場合には、抗ガン剤の投与による治療を選択せざるを得ない事態となります。ガンなどの悪性腫瘍に対しての薬物による治療は、個々の患者さんにより有効性も異なる場合が多くその有効性の判定は慎重を期さねばなりません。しかし、最近では

固形ガンに対する薬物療法の進歩は著しいものがあります。

食道ガンに対する放射線と化学療法の併用治療は、かなりの有効性が認められています。胃ガンや膵臓ガン、胆道ガンに対しても有効な薬剤の開発が行われています。大腸ガンは、数種類の薬物の併用が有効とされています。

抗ガン剤の治療は長期の投薬となります。この投薬期間中に多くの副作用が発生します。肝障害、肺臓障害、貧血などの造血器障害、胃腸障害による摂食障害も起こります。この副作用を早期に見つけ、それぞれに対して有効な対策をとることにより治療法を続けることが可能となります。これらの薬剤の量や投与方法、副作用に対する注意とその予防など抗ガン剤の専門医の果たす役割は大きく、その養成も必要です。

ガンに対する自己防衛としては、早期発見のため健康診断を受けましょう。

◆救急当番日

6日(日)・29日(火・祝)
午前8時30分～
午後5時15分

◆問い合わせ

東陽病院 ☎013335
URL: www1.ocn.ne.jp/~toyohp/

外来日程表

診療科	午前							午後		
	受付 8時30分～11時30分							受付 1時～3時		
	診察開始 9時～					10時30分～		診察開始 1時30分～		
曜日	内科	外科	整形外科	婦人科	泌尿器	脳神経外科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	
月	呼吸器 千葉大	(院長) 伊藤	安倍	田内	伊地知			千葉大		
火	森居	(院長) 伊藤	安倍	田内	伊地知	佐藤	大屋	千葉大		
水	瀬座	(院長) 伊藤	安倍	田内	伊地知			千葉大	花澤	
木	循環器 千葉大	瀬座	前田	田内						
金	森居	太和田	千葉大	田内 第2・4休診	伊地知			千葉大	國井	

※皮膚科・耳鼻咽喉科の外来日が変更になりました。

※整形外科 第2・4金曜日は休診です。

※婦人科 毎週木曜日は休診です。